

【教育目標】 北区教育ビジョン2024の人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康にして、国際的視野に立って社会に貢献し、自立した生徒を育成する。

自ら学び 自ら考え 自ら行動できる生徒

【目指す堀船中学校像】

- ・生徒が主体的・協働的に学び、自ら問題解決を求める授業が展開される学校
- ・思いやりの心と、互いに認め合い、励まし合い、高め合う人間関係がある学校
- ・心身ともに健康で、豊かな心を育む学校
- ・明るく元気な挨拶が飛び交う学校
- ・地域に愛され、落ち着いた環境が整備された学校

【目指す堀船中生徒像】

《生活目標》

- みんなが安心できる
- 心温かい環境をつくる

《行動目標》

- 何事にも、協力して取り組む
- 思いやりの心を持つ
- 自分から先にあいさつをする
- しっかりと聴く
- 時間やルール、マナーを守る

《堀船中授業スタイルのねらい》

- ・自分から学習に取り組もうとする生徒
- ・自分の力で考え判断して課題を解決しようとする生徒
- ・自分のこととして学んだことを活用・表現しようとする生徒

令和6年度の堀船中の教育活動方針

生徒が主役

生徒が主体となり、自主的に取組めるように工夫された深い学び

堀船中の教育活動

- ・各教科
- ・道徳科
- ・総合的な学習の時間
- ・学年学級活動
- ・生徒会活動
- ・学校行事、特別活動

他者との関わり

- ・自他を大切にする人間関係
- ・協働的、対話的な学習活動
- ・より良い学習集団の育成

教育基盤

- ① 学習指導の質的充実
- ② 安心・安全と健康づくり
- ③ 家庭・地域と連携した開かれた学校づくり
- ④ 豊かな心の育成とインクルーシブ教育の推進

【社会のニーズ】

SDGs等の社会の変化に対応していくために、前に踏み出す力(自主性、実行力等)、考える力(計画力、想像力等)、チームで働く力(聴く力、発信力等)等、よりよく生きるための力を育む。

起業家精神と起業家的資質・行動能力であるアントレプレナーシップを育む教育に取り組む。

【堀船中の様子】

- ・明るく、そして元気で素直な生徒集団である。
- ・地域ボランティアや学校行事等には生徒で協力し、楽しんで取り組んでいる。
- ・二つの小学校から進学する生徒が9割以上であり、小規模な学校である。
- ・学力的には区平均にやや届かない現状にある。

【堀船中生の課題】

- ・他者の考えを受け止め、自らの考えをしっかりと発信できる力を培うことが課題である。
- ・GIGAスクール構想の実現を踏まえ、ICTのより効果的な活用が求められている。
- ・地域と関わる機会をさらに増やしていくことが必要である。
- ・インクルーシブ教育を充実させることが課題である。

【東京都及び北区教育目標】

【北区教育ビジョン2024が目指すもの】

【新学習指導要領が目指すもの】

令和 6 年度 重点目標と具体的な取り組み

■「学習指導の質的充実」 他者の考えを受け止め、自らの考えをしっかりと発信できる力を培うために

1. 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
 - (1)協働的学び・対話的学びを意図的に取り入れた授業や学級指導等を意識して実践
 - ・他者の意見をまとめたり、自分の考えを深めて言語化できる学習集団の育成
 - (2)家庭学習の習慣など自ら学ぶ姿勢を高める指導と実践
2. 確かな学力(基礎的な知識及び技能の確実な定着・問題解決能力)の育成
 - (1)「堀中授業スタイル」を意識した授業の実践の深化
 - ・生徒一人ひとりが、その授業で身につけるべき力を意識して、その1単位時間で完結する授業の実践
 - ① 目標や学習課題をつかむ
 - ⇒②自分の力で考える。みんなの考えを尊重して学び合う。自分の考えを整理して表現する。
 - ⇒③目標が達成できたか振り返る。
 - (2)指導と評価の一体化
 - 指導の内容や方法だけでなく指導の結果についても説明できるよう指導と評価の一体化に重点を置く。評価の「妥当性」を常に確保し、「信頼性」のある評価をおこなうために組織的・計画的におこなっていく。
 - (3) GIGA スクール構想に対応した実践
 - ・スタディーサプリ・スクールタクト・ロイロノート等の円滑な活用による学習の充実

■安心・安全と健康づくり

1. いじめ・暴力等を許さない強い姿勢の徹底と環境づくり
 - (1)いじめの早期発見の取り組みと早期対応 : アンケートの実施、いじめの芽を見逃さない体制づくり
 - (2)いじめを許さない心の指導: 道徳科を中心に全ての教科・領域での心の教育の充実
 - (3)体罰・暴言を「しない、させない、ゆるさない」の環境づくり
2. 安全指導・防災教育、校内施設の安全点検
 - (1)教育相談、セーフティ教室、避難訓練、防災教室等の実施と安全指導の徹底
 - (2)東京都・避難所運営講座実施校としての経験を生かして防災リーダーとして活躍できる人材の育成
 - (3)定期的な安全点検の実施
3. 学校事故等への迅速な対応
 - (1)家庭への速やかな連絡と密な連携
 - (2)アレルギーや怪我等への処置対応の徹底、医療機関や区教委との連携、万が一を視野に入れた対応
4. 健康づくり
 - (1)予測困難な時代を生き抜くためのたくましい体づくりの推進
 - (2)健康に関する正しい知識の教授と、実践的な能力や態度の育成
 - (3)コオディネーショントレーニングの実践的な活用

■ 家庭と地域と連携した開かれた学校づくりの推進

- (1)充実した小中連携教育の実践による、教育の質の向上
- (2)地域行事等のボランティア活動への積極的な参加促進
- (3)学校便り、HP による情報発信等、地域に信頼される開かれた透明性ある学校づくり
- (4)生徒、保護者、教職員の自己評価や、学校評議員等による評価の活用
- (5)アントレプレナーとして社会に大きく貢献した偉人について生徒・保護者・地域へ発信

■ 豊かな心の育成とインクルーシブ教育の推進

1. 道徳科の授業を中心とした心の教育の充実
 - (1)考えて議論する道徳科授業の実践
 - (2)職場体験やボランティア活動等の価値ある体験の充実
2. あいさつ(人間関係の潤滑剤)習慣の向上
 - (1)「おはよう、こんにちは」の日常的な挨拶の習慣化の取組(教職員から率先して)
 - (2)「ありがとう」の感謝を伝える言葉の取組
3. 特別な支援を必要とする生徒、不登校生徒へのサポート
 - (1)教育相談体制、特別支援教育体制の充実、面談の充実、生活アンケートの実施
 - (2)スクールカウンセラーや関係諸機関との連携
4. インクルーシブ教育の充実
 - (1)関係機関との連携による特別支援教育の正しい理解と推進
 - (2)障害の有無にかかわらず共に学ぶことの大切さを知る社会性の習得

■ 70周年記念事業に向けた取組の充実

1. 生徒・保護者・地域・教職員の心に残る取組
 - (1)生徒が主体となって創りあげる70周年記念行事の実施(「70周年記念運動会」、「70周年記念ほりふな祭」、他)
 - (2)70周年記念を冠にした各種取組の実施(「70周年記念道徳授業地区公開講座」、他)
 - (3)生徒・保護者・地域・教職員の心に残る70周年記念誌の作成